NEWSな ヒトにインタビュー

ここ、長野を拠点として全世界を相手にビジネスを展開する開発型ベンチャー企業がある。超小型のCCDカメラ開発・製造からスタートし、その技術を応用して医療機器の歩野へ進出。今や、全世界の医療関係者や研究者から熱い注目を浴びている。そして現在、長野市内に新社屋建設プロジェクトを進行中だ。名付けて「RF Innovation Port」。その真の目的とは――同社代表取締役社長の丸山次郎氏に話を聞いた。

医者っていうのは「こんな製品なんか簡単にできるんじゃないかなぁ？」なんて平気で無理難題を言う。でもその技術で世界中の命が救えるんだとしたら、自分を追い込んででもぜったいに完成させたいと思う。「なんとかしなきゃ」。そんな情熱が知恵となるのです。

世界から長野に人を集めて最先端の技術を発信したい

少々、怕子後けした。勝手に想像していた人物像と、実際に会った印象が多きりには違っていた。ホームページを覗くと、氏の言葉が綴られている。それを読むにつれ、だんだんと恐いような人なのかなと思った。だが実際は穏やかで、真摯な人柄だった。

株式会社アールエフ。世界の歯科医療現場で使われているワイヤレス口腔内カメラのうち、実に85パーセントものシェアを占める企業だ。さらに直径わずか9ミリ、長さ23ミリのバッテリーレスカプセル内視鏡「Sayaka」の開発など、創業わずか10年ほどで急成長を遂げた。そんな同社が現在、新社屋建設プロジェクトを進行中だ。

「本当は大きな建物はウチには必要ないんです。実際には残りの7割は何に使うのか？実は先端医療機器の開発や人材育成を目的とした大学院大学を設置する予定なのだ。

「医療機器は、工学的知識と医学的知識、この2つを備えていないと開発が非常に難しい分野。現在はそれぞれが独立していて、現場で必要とされる機器を作るための土壌があまりない。そこで、研究開発ができる場所様な時で研究者、所の人を含めた、交流できる場所を作るつもりです」

学生には起業を前提とし、卒業生向けの無利子融資も検討している。「若い技術者には、とにかく早く起業してもらいたい。ウチのライバルとなるような医療機器開発メーカーを早く作ってもらいたいんです。」

ひとりでも多くの命を救う そんな情熱が技術を高める

ライバルを自ら育てるという、常識では考えられない発想。それには訳がある。「海外の医師や技術者と話すと必ずこう言います。『日本はもっと医療技術の開発に力を入れるべきだ』と。」

世界で販売されている医療機器で日本製がたった数台はわずかなパーセントだけの技術力がある。「ないのは、ただ単に医療機器の開発や人材育成を目的とした大学院大学を設置する「MADE IN JAPAN」での向上につながり、いずれはウチにも返ってくるんです。

そんな氏の会社も、創業からの道のりは、いばらの道だった。順調に発展してきた訳ではない。「当初は叩かれました。（笑）。「政治」もたびまんの業界。団体や組合にはいろいろ。あんで参加しなかったんです。」 通常、医療機器は高価なものです。「だから保険適応の評価が必要。それにはまず、臨床試験を通過しなければならない。それ付いたらこっちに。」 「正直なところ、無計画。気がつけばそうなっていた。ただ情熱だけは持っていました。」

先が読めない時代。重要なのは、足元をしっかりと見て突き進む情熱なのかもしれない。

グローバルな視点で医療機器を考える
開発型ベンチャー企業の社長兼技術者

株式会社 アールエフ 代表取締役社長 丸山 次郎 さん

PROFILE

丸山次郎（まるやま・じろう）。1947年10月21日生まれ。上田市出身の60歳。技術に興味を持ち始めたのは小学校3年生の時。3年足のトランジスタに出会って感動し、自作で真空管ラジオを作りはじめる。中学に入ると無線機を作り、長野高等時代には真空管式自黒テレビを学生寮で出来。近くの電気店に販売を委託。自分で作った物が売れるという喜びを味わせる。東海大学工学部入学後は学生仲間を集め、テレビの修理業をはじめる。下宿先の曾祖人を1本自宅で電話番号を借り、大学の印刷機でチラシを作り学生寮等を強調け。卒業後、大手コンピューターメーカーの研究所を経て、東南アジアを拠点にフリーの技術コンサルタントとして活躍。1993年、長野市にアールエフシステム研究所を創業。1996年、株式会社アールエフ設立。2001年、世界初の無線電力伝送方式によるバッテリーレスカプセル内視鏡の開発に成功。2003年、将来の人材育成を目指し、医療機器の研究開発を目的とする大学院大学構想を発表。主な関連著書にプロジェクト・ノリカ（徳間書店）、アールエフの夜（ブレンデリ社、現田金・著）などがある。

【株式会社 アールエフ】
東長野市中御所3
TEL026-225-7700
URL http://www.rfsystemlab.com

女優の高橋礼子さんを起用した問社の長野駅前看板。2008年2月初旬に張り替え予定だ。「これからは長野にもいろいろ仕掛けていく予定です よ」とは丸山社長の弁。

上写真・2番目から4番目は同社の製品。上から順に歯科医が患者に説明しながら治療をすることができるワイヤレスCCD口腔内カメラ「アインシュタイン」。飲み込むことで消化管全体を撮影することができる世界初のバッテリーレスカプセル内視鏡「Sayaka」。わずか5秒でデジタルカメラのようにレントゲン撮影ができるデジハデン「NAOMI」。内部に複数のCCDセンサーを並べるという独自の手法をとっている。その下は歯科様にパソコン画面に表示される画像。丸山社長と若い技術者の知の結集。